

令和7年度現代芸術の国際展部会

令和7年度の部会は、気候変動対策が国際的にも国内的にも喫緊の課題であり、文化・芸術の分野でも持続可能性が重視される中、「現代芸術の国際展における環境に配慮した取組について」をテーマに、参加団体の国際展の持続可能な運営に向けた実践的な知見の蓄積や参加団体間での環境施策の相互参考・連携の促進等を目的に、高松市にて瀬戸内国際芸術祭2025会期中に2日間の日程で開催した。

また、瀬戸内国際芸術祭2025を巡るエクスカーションも合わせて実施した。

【全体概要】

- 令和7年度は、高松市にて瀬戸内国際芸術祭2025会期中に開催し、「現代芸術の国際展における環境に配慮した取組について」をテーマに課題やノウハウの共有など意見交換を行った。
- 担当者ミーティングの2日目は、創造都市政策セミナー in 高松市参加者と合同で瀬戸内国際芸術祭2025を巡るエクスカーションも合わせて実施した。

【担当者ミーティング概要】

開催日時	令和7(2025)年10月16日(木)13:00~15:00
開催場所	高松市及びオンライン(ハイブリッド開催)
主 催	横浜市
共 催	創造都市ネットワーク日本(CCNJ)、高松市、文化庁
参加人数	28名(現地20名、オンライン8名)※事務局含む
参加自治体・団体数	自治体:9※事務局除く
プログラム	<ul style="list-style-type: none">□開会挨拶<ul style="list-style-type: none">・辻下 美智子氏(高松市創造都市推進局 参事(文化芸術担当))・武藤 高之氏(文化庁 参事官(生活文化創造担当))□第1部 基調講演及びクロストーク ※一般公開形式<ul style="list-style-type: none">(1)基調講演 「環境と瀬戸内国際芸術祭」<ul style="list-style-type: none">・増田 敬一氏(香川県政策部文化芸術局 瀬戸内国際芸術祭推進課課長(瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局次長))(2)事例紹介<ul style="list-style-type: none">・「横浜トリエンナーレにおける環境に配慮した取り組み」(横浜市)・「北アルプス国際芸術祭開催を通じた空き家等の活用事例」(大町市)・「SIAF(札幌国際芸術祭)2024における循環型資源活用の取り組み」(札幌市)□ディスカッション<ul style="list-style-type: none">・現代芸術の国際展における環境に配慮した取組について□総括<ul style="list-style-type: none">・佐々木雅幸氏(大阪市立大学名誉教授/CCNJ顧問)

【エクスカーション】

1. 通常コース

開催日時：令和 7 年 10 月 17 日(金)9:30～15:40

会 場：女木島、男木島

2. ショートコース

開催日時：令和 7 年 10 月 17 日(金)9:30～11:40 または～13:40

会 場：女木島

